

雅集

～新時代の演奏会：解説・体験・交流～

古箏・古琴の調べと

本格中国茶を嗜む午後の集い

2026年 **11月1日** [日]

13:30開演

(13:00開場 15:30終演予定)

(～16:30交流会)

亀岡市曹流寺内

5,000円 (中国茶・お茶菓子込み)

[予約制・定員36名]



ゲスト
赤澤千鶴
(日本箏奏者)



ゲスト
龍
(中国茶人)

プログラム

第一部 音と出会う

古箏・古琴の音色を
やさしい解説とともに
味わう

第二部 体験する

2グループ同時進行
・古箏・古琴
・中国茶(解説付き)

第三部 深まる

体験の後だからこそ
感じられる
深く響く音の世界

第四部 交流する

初めての方も一緒に
音の魅力を
分かち合う

※当日の進行により、内容が一部変更となる場合があります

会場アクセス

【お車の場合】

京都縦貫道「亀岡IC」より約15分
駐車場10台(なるべく乗り合わせにご協力ください)

【電車の場合】

JR「亀岡駅」より無料送迎あり
お迎えの時間等、詳細は予約時にご案内します

予約・お問合せ

心楽堂公式LINE

「イベント情報」へお進みください

24時間受付中



心楽堂
kokorakudo

ここは楽なば、心楽堂になる



主催 心楽堂 kokorakudo

後援 亀岡市 & 亀岡国際交流協会

紅葉のお寺で、心ほどける一刻を

しゅうふう

周楓

古箏・古琴奏者

予定演目(一部)

「高山流水」

「昴」

「酒狂」

会場

曹流寺（そうりゅうじ）

亀岡の自然に抱かれた、静寂息づく古刹。住職の大雲順次さんは地域交流に深く尽力され、これまでも数多くの異文化交流を温かく支えてくれました。

「お寺を開かれた場所に」という住職の想いと、心楽堂の「共鳴」への願いがこの会を結びました。由緒ある本堂の静寂の中で、心に響くひと時を。

雅集

雅集(がしゅう)とは、かつて中国の文人たちは、美しい庭園や静かな寺院に集い、音楽を奏で、お茶を嗜みながら詩を詠み、心を通わせました。その風流な集いを「雅集」と呼びます。

単に演奏を聴くだけでなく、その場の空気、香り、そして人との対話すべてを味わう、五感に満ちた文化交流の場でした。

ゲスト

赤澤 千鶴（あかざわ ちづる）

京都、亀岡を中心に活動する「千寿会」会主。千寿会演奏会をはじめ、京都・平野神社の奉燈祭での奉納演奏などに出演。会のメンバーと共に邦楽の研鑽を積みながら、日々楽しく演奏活動を行っている。

ゲスト

World Tree 世界樹茶房

中国大陸の厳選された茶葉やアジアの野草茶を扱う、大阪・梅田の茶専門店。店主自らが「泡茶（中国茶の淹れ方）」を執り行い、茶葉の個性を最大限に引き出した最適一杯を提供します。

店主：龍

中国各地を巡り、雲南省では自ら製茶も手掛ける茶人。長年の経験に基づき泡茶技法を体系化しており、茶葉の状態を見極めながら、その場で最も美しい味を組み立てます。黒茶やプーアル生茶を特に得意としています。

周楓

中国蘇州出身。日本愛称「もみじさん」。

35歳で古筝と出会い、名演奏家・江楓氏に師事。「永遠の学び手」として研鑽を積み、2003年より古筝指導を開始。江蘇省優秀指導教師の称号を持ち、蘇州古筝学会理事など要職を歴任。

古琴は伝統ある呉門琴派に師事。中国伝統文化促進会古琴委員会会員。その音色は「中正平和、清微淡遠」と称され、清らかで奥深い静寂を湛える。

2024年より日本での無償活動を開始し、亀岡の小中学校や国際交流事業で音の交流を届けている。

「言葉が通じなくても、弦を弾けば心は一つになれる。蘇州の調べが、皆様の人生と共鳴するひと時を幸せに思います」

古筝vs日本箏

同じルーツを持つ二つの楽器。

弦の数、太さ、素材や演奏法……。

歩んできた歴史の中で、それぞれ独自の進化を遂げました。

似ているようで、音色は全く違います。

その秘密や味わいの違いは、当日のお楽しみ。

コラム：新時代の音楽会「雅集」に寄せて

従来の演奏会は、舞台の上の奏者と、客席の聴者が同じ空間にいながら、どこか遠い存在のように分断されていました。奏者は自分の想いがどこまで届いたかを知る術がなく、聴者は「楽器の世界は敷居が高い」と、自分とは別世界の出来事のように感じてしまう。そこには、目に見えない高い壁があったように思います。

しかし、音楽とは本来、言葉や国境さえも軽やかに飛び越え、人々の心に深い共感と呼ぶものです。奏者同士が、そして奏者と聴者が、音を通じて魂の深いところで「共鳴」する瞬間が必ずあります。その一瞬の輝きを、ただ過ぎ去るものにするのではなく、大切に分かち合いたい——。それが、心楽堂がこの「雅集」を企画した一番の理由です。

今日お集まりいただく皆様も、それぞれに豊かな感受性と、彩り豊かな人生経験を持っていらっしゃると思います。音楽を聴いて胸が高鳴ったとき、その感動を言葉にし、誰かと共有する。その表現の場があって初めて、音楽の持つ真の「癒やし」の力が解き放たれると私は信じています。

母・周楓が奏でる古筝・古琴の調べ、そして一期一会のお茶。それらを媒介に、皆様自身の心の声を響かせてみてください。奏者と聴者が響き合い、一つの物語を共に創り上げる「新時代の音楽会」。この場所から、新しい心の交流が始まることを願っています。

心楽堂 主宰 周悦

